

# 火起こし（簡易版）

場所	野外炊飯場		
時間	30分～		
値段	料金表参照		
季節	年間	人数	何人でも
準備物	【利用者】軍手、新聞紙、救急用品、季節に適した服装 別紙「野外炊飯（準備・片付け）」参照  【自然の家】材料（ファイアースターター、麻ひも） ※最大貸し出し15セット		

## プログラムの概要・ねらい

“火打ち石”の現代版、ファイアースターターを使用して火を起こす。火花から火種を作り、大きな火へ移すことで、火の特性に気づくことができる。

## ①準備

サービスセンター受付で、ファイアースターターと野外炊飯場の鍵（ログハウスゾーンは必要なし）を受け取る。火付けの準備をしておく。（※別紙「火付け」参照）

## ②実施の流れ

### 【時間】

0:00 プログラムシートで、やり方や留意事項の確認をする。  
麻ひもをほどいて着火底の準備をする。

①麻ひもをねじるようにし、ほどく。（写真①）

②ほどいた麻ひもをかまどの中に丸めて置く。  
※できるだけ多い方がよい。

0:10 【火の着け方の流れ】

①麻ひもの上でブレードをロッドに当ててスライドさせて削る。  
（ロッドからマグネシウムの粉が落ちる）（写真②）

②ブレードを強く速くスライドさせて火花を飛ばし、マグネシウムの粉末に当て着火する。（写真③）

③麻ひもはすぐに燃えてしまうので、新聞紙や細かくした薪へに火を移す。  
起きた火で、野外炊飯などをする。（写真④）

### <プログラム時間の目安>

火起こし+野外炊飯 = 0.5時間+3.5時間=4.0時間

火起こし+スマアーズ = 0.5時間+0.5時間=1.0時間

火起こし+焼き板 = 0.5時間+2.0時間=2.5時間

火起こし+ぐるぐる棒巻きパン = 0.5時間+1.5時間=2.0時間

0:25 片付け  
・使った用具をきれいにする。

0:30 終了



## ③後片付け

別紙「野外炊飯（準備・片付け）」を参照し、後片付けをする。  
サービスセンター受付へファイアースターター、野外炊飯場の鍵（ログハウスゾーンは必要なし）を返却する。

**★かまどに水を掛けて掃除するとレンガが割れてしまうので、絶対に行わない。**